

ICT 学習支援教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	青森県立森田養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で 記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	シルバークラブとの交流会		
	単元(題材)の目標	実際に行くことが難しい場合に、見たり話しかけたりして現地とつながる体験をする。		
学習集団と実態	学部・学年・人数	中学	部	1～3 年 22 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	※個別学習の場合は、個人の本単元（題材）における主な実態を端的に記入する。 ・ 中学部普通学級生徒15名 重複学級生徒7名 計22名 ・ 普通学級生徒はリモート学習を繰り返し経験しており、オンライン上での会話に慣れている。重複学級生徒は本単元が初めてのリモート学習となる。 ・ 機器操作等ができない生徒がほとんどである。		
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称	※使用した ICT 機器（入出力支援装置等）名を記入する。 タブレット端末（iPad）、大型液晶モニター、無線受信機器（APPLE TV）		
	使用したアプリケーションの名称	※使用したアプリケーション名を記入する。 Z o o m		アプリマーク 
	主な活用の用途 (✓又は■で 記入する。)	(複数選択可能) <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション支援 <input type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input type="checkbox"/> 学習支援 (<input type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援)		
	ICT活用のねらい	受信者、発信者の両方を体験することで、相手に正しく伝えるためにどうしたらよいかを考え、生徒達が自分から工夫するようになっていくことが深い学びにつながるのではないかと。		
活用の状況と支援	※ICT 活用場面と行った支援について記入する。 ・ 時間内、本校と相手先をリモートで中継続けた。 ・ 相手先の通信状況が思わしくなく、中断してしまうことがあった。復旧作業の間、発表の練習や内容の確認の時間に充てるように生徒に言葉かけを行った。 ・ タブレット端末のカメラを内側カメラに固定することで、自分の発表する様子をタブレット端末で確認しながら発表できるようにした。			